

# 森の風



帯広市立森の里小学校  
学校だより

平成 29 年 7 月 6 日

第 8 号

～学校と家庭と地域を結ぶ通信～

## 本物に触れる～国立能楽堂「体験教室」



「能」は、世界で最も古い伝統芸能であり、世界無形文化遺産です。子供達は、帯広ではなかなか鑑賞する機会がない日本の伝統文化に触れることができました。

この日、6年生はこつづみ小鼓やおおつづみ大鼓、太鼓、横笛の楽器におもて触れたり面をつけたりする体験もさせていただきました。普段、厳しい世界でお稽古に励んでいらっしゃる講師の先生達から放たれる凜とした空気感。そのような中、6年生の表情も真剣そのもの。

その後、全校で「船弁慶」という舞囃子を鑑賞させていただきました。このお話は、亡霊が出てくるもので、低学年にとっては少し怖かったかもしれませんが。本物から伝わるものは子供達も感じ取っていたようで、大変貴重な体験となりました。



### 顔が見える学校に！

今年春から職員室前の掲示板に、職員写真を掲示しています。子供達の中にはじっくりと見て先生方の名前を確かめている子もいます。また、保護者の方からは、「先生方の雰囲気が明るくていい感じですね。」と好評をいただいています。来校された際には、ぜひお立ち寄りください。

# 3年1組校内研究授業～道徳の提案授業～

先生方は、子供達にとってわかりやすく楽しい授業ができるよう日々研修に励んでいます。今年度は、「国語」「算数」「道徳」「特別支援教育」の4グループに分かれ、それぞれの研究を進めています。今後は、各グループの成果等を全体



テレビ画面に映し出された自分たちの校内生活の様子を見て振り返りました。



ワークシートはその子の育ちを見取る材料にもなります。

で交流することで互いに授業力を高め合うことを目指します。

さて、先週、3年1組の中村美帆子教諭が、来年度から始まる「特別の教科 道徳」に向けた提案授業を行いました。これからの道徳は、「心情理解を中心とした道徳」から、「考え、議論する道徳」へと変わっていきます。変化の激しい予測不可能な時代において、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことが重要になってきます。



ペア学習で視野を広げます。

3年生の授業では、「きまりは必要だろうか」という問いから始まりました。頭ではわかっている、なかなか実行に結びつかないことはよくあることです。今後、この道徳の授業での気づきを、1年生に伝えていく学習も計画されています。このような活動を通して、自らの生活を高めようとする気持ちを育てていきたいと考えています。

**【今年度の学校評議員の皆様】**

- (3年目)
- (1年目)
- (1年目)
- (1年目)
- (1年目)



貴重なご意見ありがとうございました

- 「家庭学習の手引き」を保護者に配布するなど、保護者と連携して子供を育てていこうとする学校の取組がよい。
- 先生達が一丸となって子供達の学力を高める手立てを講じてほしい。
- 人の話は、その人の目を見て手をおいて聞くことを習慣づけてほしい。指導すれば子供達はできる。
- 目標をもっていない子供に対し、きっかけ作りとして、中学生や高校生など身近な先輩からの話を聞く機会があってもよいのではないか。緑園中の生徒会活動が活発なので、協力してもらってはどうか。

## 第一回学校評議員会での話題